
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 16 弾 第 2 回「私の読書」病態分子薬理学／榎村敦詩

.....

【2】 --- オンライン受講の部屋、お貸しします

.....

【3】 --- 令和 4 年度第 1 回企画展示<はじめてははじめました>展開催中

.....

【4】 --- The New England Journal of Medicine 論文著者に聞く
NEJM への投稿・掲載のリアル

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 16 弾 第 2 回「私の読書」病態分子薬理学／榎村敦詩

.....

私の主な読書タイムは通勤の電車内や就寝前である。分野の好みは特になく、その時の流行や話題の本、TV ドラマを見て原作にあたってみたり、はたまた思い立って古典的名作に手を伸ばしたりと雑食的読書で、同じ作品を読み返すこともあまりないのであるが、例外は上橋菜穂子ワールドである。「守り人」、「獣の奏者」、「鹿の王」の 3 シリーズや「狐笛のかなた」を中心に映画化・TV 化・舞台化された作品も多く、ご存じの方も多いと思うが今回ご紹介させていただく。

ベストセラーになる要因の一つは活力を持つ（特に女性の）主人公が運命に敢然と立ち向かい、ひたむきさをエネルギーとして成長していくところで、これは「朝ドラ」に通じるものがあるかもしれない。冒険物語が進んでいくなかで、政治的な駆け引きも物語の屋台骨として蠢いていることも魅力である。「守り人」シリーズは精霊や神など異界とこの世の繋がりが前面にでる、ファンタジー色が強い連作であるが、一国の皇子の運命が、国内外の政治・外交が絡み合い、権謀術策にまみれ翻弄されていく様子もリアルに書き込まれている。上橋さんは文化人類学者である。アボリジニーに着目し、国家の主流社会の中で、先住民族がマイノリティーとなり、どのような文化変容を被り、新たな文化を創造していくのかを、国際理解（人と文化の理解）の視点で研究されているようで、作品にも反映されるのかと思われる。

もう一つの特徴は科学・医学への興味や探求が主人公や物語に投影されることであり、私が特にこれらの作品に共感を覚え、惹かれる理由かもしれない。特に「鹿の王」を作品にされた際は、上橋さんが身体の中で起こっていることに興味を持ち、細菌やウイルスとの共生、腸内細菌と疾患・免疫との関連について熱心に学ばれた

そうで、これらの分野はまさに私の主な研究テーマでもある。先述したとおり、上橋さんは文化人類学について大学院で博士号を取得、大学教授の経歴（現在は特任教授）をお持ちの学者である。本作では医学に関する記述に間違いがないよう、医師である従兄に感染症の点をはじめ徹底的に医学監修を依頼された他、作品で重要な地衣類やトナカイ放牧民についてもそれぞれ国立科学博物館、国立民族学博物館の専門学者に助言を求めたそうである。結果、日本医療小説大賞を受賞されるに至るが、それは学者としての矜持が、科学者にも納得できる作品の完成度に繋がっているからであろう。いっぽう、学問的描写の勝った描写はややもすると一般読者からはとっつきにくいものとなるところであるが、上橋さんならではの豊かな想像力を織り込んだ世界観と、アボリジニーの文化を土台とした風景描写・心象描写の美しさにより、その分野の専門家だけでなく非常に広い読者層から熱狂的に支持され、愛される作品となっている。

国際アンデルセン賞を受賞された日本を代表するファンタジー児童文学作家と紹介されるが、ご本人はファンタジーを書いているつもりはないと述べておられ、私もそう思っている。ハイファンタジーという分類になるらしいが、まだ読まれていない方は、少なくとも児童作品だからと誤認することなく、トライしていただきたい。個人的には「獣の奏者」シリーズを第一におすすすめしたい。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- オンライン受講の部屋、お貸しします

.....

ZOOM やウェビナーを利用した、オンラインでの授業や研修受講に、図書館の部屋を利用していただけます。

<単方向での受講>(視聴だけ)

- ・ 閲覧室 ([第1閲覧席](#)、[第2閲覧室](#)、[第3閲覧室](#))
- ・ [個人閲覧室](#) 予約不可。カウンターで当日受付します。
- ・ [情報検索室](#)

個人閲覧室以外は申請不要。音声はイヤホン経由でお聴きください。

<双方向で発言>(発話を伴う場合)

- ・ [セミナー室](#)(①6名まで②5名まで)1週間前から予約可能
- ・ [AVルーム](#)(21名まで)前月1日から予約可能
- ・ [ブラウシングルーム](#)(4名まで)予約不可。カウンターで当日受付します。
大学事業などで利用できない場合がありますのでご了承ください。

【3】 --- 令和4年度第1回企画展示<はじめてははじめました>展開催中

.....

- 期間：2022/7/14(木)～8/17(水)
- 場所：附属図書館1階 特設展示コーナー
- チラシ：[こちら](#)
- 展示一覧：[こちら](#)

今年の夏は”初めての学び”をテーマに「はじめての死体解剖」「はじめてのモニター心電図」「はじめての医事法第2版」などをピックアップし、展示しています。

看護実習を控えている学生さんには、DVDの「看護のための初めての実習ガイド」の基本編と実践編がおすすめです。また教え方に悩む先輩へ「新人・後輩ナースを教える技術50」を用意しています。

すべて貸出可。企画展示はお盆まで開催しています。是非図書館へ足をお運びください。

【4】 --- The New England Journal of Medicine 論文著者に聞く

NEJM への投稿・掲載のリアル

.....

南江堂主催のオンラインイベントのご紹介。「The New England Journal of Medicine (NEJM)」に論文が掲載された先生方が研究内容を紹介し、モデレーターを交えて投稿から掲載までの体験談を聞ける機会です。

『第3回 The New England Journal of Medicine 論文著者に聞く

NEJM への投稿・掲載のリアル ―臨床研究を成功に導く生物統計学―』

- 日時：2022/8/3 (木) 18:00～19:00

- 講演者：森本剛先生（兵庫医科大学）モデレーター夏秋政浩先生（佐賀大学）
 - 参加費：無料
 - 定員：300名
 - 内容：研究論文の概要・研究背景
論文から掲載までの NEJM とのやりとり
掲載後の反響
 - 詳細・申込：[こちら](#)
-

[Book Review]

.....

yur.3 著「28文字の片づけ」（主婦の友社 2019）

短い言葉で語られる片づけの格言集(?)のような本。例えば1つめの言葉は、この服で誰かに会いたくないと思うなら その服は寿命・・・みたいなかんじ。

簡潔でさくっと読めるし、言っていることも特別なことではなくて そうだよねというようなことなのですが、意外とハッとしたりもしたし、なんか痛いところを突かれた気もしました。

結果、読んだ後には片づけしたいテンションが高まります。(実行はまだ。)(Y.M)
(京都市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog：<https://booklog.jp/users/kpumlib/>

この本のページ：<https://booklog.jp/item/1/4074385066>

.....

図書館メール News 第470号 2022.7.22 発行（隔週金曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/websevice/mailnews.html>